



学校だより

令和8年6月1日
国分寺市立第三小学校
NO. 534
校長 堀田 直樹



三小ブログ
毎日更新中

「タイパ・コスパ」にご注意ください！

校長 堀田 直樹

「みなさまは、生成 AI（人工知能）を日常的に利用されていますか？ 信用していますか？」

東京都の小学校 1～3 年生のスマートフォン所有率は 31.8% で、生成 AI の利用率は 55.8% に上ったそうです。今の時代の子供たちは、よくも悪くも幼少期からスマホなどを通して社会とつながる機会が多く、情報や知識なども個人差があるなど、心情を推し量ることが難しくなっています。

ある地区では小学生を対象に「人権標語」を募集したところ、後に判明したのですが、入賞となった 7 作品のうち 3 作品が生成 AI を利用して作ったものだったそうです。生成 AI で作成・応募した児童は、「楽だから」「誰に対しても害はないから」「悪いことだとは思っていない」ということでした。それに対して自分で考えて作った児童は、「自分で考えた方が気持ちがこもっていると思う」「自分で考えない意味ないから」「せっかくやるなら自分のためになるようにしたくないですか？」と言っていました。

一説では、人間の学びは、推論し、間違い、それを修正するというサイクルを重ねることで、知識を身に付け、意味を理解し、直観が磨かれていくことによって学びが深まっていくと言われています。自分なりに考えて立てた仮説の多くは間違えているかもしれません。ですので、仮説には検証が必要となります。そして自分で立てた仮説を自ら吟味して検証し、自分で自分の間違いに気付けば、間違いを修正して「知識」として蓄積することができます。

しかし、もし仮に誰かが答えを教えてくれ、それを丸暗記して「知識」として蓄えたとしても、社会や実生活においてその「知識」を役立てることができるかどうかは分かりません。とりわけ、とても便利な生成 AI が急速に普及しつつある現代において、AI がすぐ「答えらしきもの」を教えようと手ぐすねを引いて待っており、上手に使わないと、私たちが「自分の頭で考える」ことの邪魔をします。少なくとも現時点での AI には得意分野と不得意分野があり、「過去のデータを分析して、最適解を出して」と言えば、人間よりも正確かつ高速に「論理的に正しそうで、無駄のない答え」を出してくれます。確かに AI は作業効率を高めるのには適しておりますが、学びを深めることには適していないように思います。

本当に役に立つ「知識」とは、AI や ChatGPT を活用してタイム・パフォーマンス（タイパ）やコスト・パフォーマンス（コスパ）よく正解を探すことではなく、困難にぶつかっても、何度も失敗や挫折してもあきらめない「強い心」をもち、自分の頭で考え、試行錯誤や紆余曲折などのプロセスを経て獲得した「知識」ではないかと考えます。特に人生経験が少ない子供に対して私たち大人は、「チャンスを与える」「失敗しても見守ってあげる」「困ったときほど複数の人間に相談させる」「何のためにどこまで AI を利用するのか考えさせたいので、参考の一つにとどめさせる」ことが大切ではないでしょうか。

特別支援教室（つばさ教室）入室説明会（YouTube 配信）のお知らせ

市内の各中学校には特別支援教室（つばさ教室）が開設されています。特別支援教室の教育内容等についての通室説明会（YouTube 配信）を開催します。お客様の個に応じた支援の一つとして検討されている方は、ぜひご覧ください。

配信期間：令和8年 6月 1日（月）から 10月30日（金）まで

参加対象：市内小中学校在籍児童・生徒の保護者の方

●下の二次元コード、または URL から視聴可能です。お手持ちの機器に合わせてご利用ください。

【つばさ教室通室説明会 前半】<https://youtu.be/eMrDB04q1iA>

【前半】

【つばさ教室通室説明会 後半】<https://youtu.be/rqbGFMWgkHE>

【後半】

【保護者の皆様へ】※映像をダウンロードしたり、画面の画像を撮ったりしないで下さい。

※URL・QRコードを家族以外の人に教えることは絶対にお止め下さい。



離任された先生方より

三小では、3年間お世話になりました。国分寺市内の小学校で三校勤務し、娘三人も国分寺で育ちました。今までたくさんの保護者や地域の方々の温かいご支援の中で充実した教員生活を過ごせたこと、心より感謝申し上げます。立場は変わりましたが、また大好きな三小の子供たちと元気に過ごしていきたいと思えます。よろしくお願ひします。中村真智子先生（ご退職）
第三小学校で初めて副校長になり、4年が経ちました。子供たちの笑顔に元気付けられ、保護者の皆様や地域の皆様に支えていただきながら、何とかここまでやってきたと感じております。私自身が一番学び、育てていただきました。本当にありがとうございました。皆様の笑顔が溢れる三小になりますように願ひを込めて。 福澤真吾先生（国分寺市教育委員会へ）
三小で6年間お世話になりました。保護者の皆様や地域の方々の温かいご支援の中で、たくさんの子供たちと出会い、様々な経験をする事ができました。子供たちには、日常の中から好きなことや自分のよさを見付け、互いに認め合いながら切磋琢磨してこれからも成長してほしいと思えます。ありがとうございました。 石川葉子先生（国分寺市立第一小学校へ）
三小では5年間お世話になりました。元気いっぱいの子供たち、温かい保護者の皆様、地域の皆様に支えられて、充実した日々を過ごす事ができました。5年間でたくさんの思い出ができました。子供たちと過ごした日々を宝物にして、新しい学校でも頑張ります。これからも三小の子供たちが元気で楽しく成長し続けていくことを願ひしています。ありがとうございました。 宮本将之先生（町田市立小山ヶ丘小学校へ）
6年間大変お世話になりました。笑顔溢れる子供たちとのにぎやかな毎日は、かけがえのない宝物となりました。そんな素敵な日々を過ごす事ができたのは、保護者の皆様や、地域の皆様の温かいご支援のおかげだと感謝しております。三小の子供たちが互いのよさを認め合いながら、元気いっばいに成長していくことを願ひしております。ありがとうございました。 大島文字先生（武蔵野市立第一小学校へ）
6年間大変お世話になりました。第三小学校の皆さんと過ごした毎日は、かけがえのない宝物です。たくさんの思い出に感謝し、皆さんの成長を願ひしています。Keep going, Sansho-Kids! 安村英生先生（杉並区立八成小学校へ）
こすもす教室の立ち上げから8年間、大変お世話になりました。保護者の皆さんからの温かいご支援の中で、こすもす教室を身近に感じてくれる子供たちが増えたことを実感しております。三小の子供たち一人一人のよさが輝き、『十色』が発揮できるよう、これからも近くで応援しています。ありがとうございました。 岡本あゆ美先生（国分寺市立第五小学校へ）
大変お世話になりました。明るい三小の子供たちからたくさんの元気をいただきました。ずっと応援しています。ありがとうございました。 高田千春先生（国分寺市立第四小学校へ）
4年間、大変お世話になりました。毎日の給食やバイキング給食を楽しみにしている子供たちの笑顔や、「今日もおいしかった!」という言葉が私の励みでした。保護者の皆さま、先生方の温かいご協力で心より感謝申し上げます。ありがとうございました。 永田侑里奈先生（国分寺市立第五小学校へ）

ふれあい（いじめ防止強化）月間の取組について

生活指導主任 齋藤 健太

6月は、ふれあい月間です。それに伴い、全校児童にいじめに関するアンケートを実施します。質問項目に1つ以上○を付けた全児童に教員が聞き取りを行い、解決のための手立てを講じていきます。また、特別の教科 道徳の学習を中心に「いじめは許されない行為であること」を指導したり、たてわり班活動を通して、相手への思いやりの気持ちを育てたりしていきます。ふれあい月間だけでなく、いつでも安心して学校で過ごせるように全教職員で児童を見守っていきます。ご家庭でも「いじめは許されない」ということについて話していただければと思えます。

来校時のお願い

先日の学校公開では、2階正面玄関でQRコードの受付にご協力いただきまして、ありがとうございました。三小ではご来校の際、2階正面玄関から校舎内へお入りいただいております。遅刻早退等の送迎も、2階正面玄関から、受付（左手にある事務室）まで、そのご用件をお伝えいただきます。また来校時は、さくら証を身につけてください。お持ちでない方は受付で来校者シールをお受け取りいただき、見える場所に貼ってください。引き続き、防犯等対策にご理解・ご協力くださいますよう、お願いいたします。

家庭でのタブレット使用について

ICT主任 西尾 春佳

先日は「タブレット持ち帰り同意書」をご提出いただきありがとうございます。今後は、各学年・学級の実態に応じて、ご家庭に持ち帰ることがあります。「三小タブレット活用ルール」を定期的にお子様と一緒にご確認いただきますようお願いいたします。また、家庭用の充電器と名前シール（充電器貼付用）が配布されましたら、充電器に名前シールを貼り、充電器の箱はご家庭で処分をしてください。タブレットを持ち帰った際は、十分に充電をしてから学校に持って来るようにしてください。よろしくお願ひいたします。